

大分市総合計画等策定若者ワークショップ
開催報告書

令和6年3月

<目次>

1	実施概要	1
1.1	実施目的	1
1.2	実施概要	1
1.3	参加者について	2
2	若者ワークショップ各回実施内容	3
2.1	第1回	3
I.	大分市の現状・将来起こりうる社会問題について	3
II.	(仮称)大分市若者活躍推進プランについて	4
III.	グループワーク(若者の活躍推進をサポートするための取り組み)	4
IV.	全体発表・自己紹介	6
2.2	第2回	8
I.	若者アンケートの分析結果報告	8
II.	ホームワークの発表	9
III.	グループワーク(大分市の課題)	10
2.3	第3回	13
I.	グループワーク(大分市の課題と解決策)	13
2.4	第4回	15
I.	グループワーク・全体発表	15
3	「大分市総合計画策定に関する若者提言書」概要	16
4	「大分市総合計画策定に関する若者提言書」手交式	18
5	ワークショップ参加者アンケート結果	19

1 実施概要

1.1 実施目的

本市では大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」の計画期間が令和6年度末で終了することから、令和5年度より新たな総合計画（令和7年度～）の策定が進められている。この新たな総合計画は、市政運営の基本指針となるものであり、本市の未来を見据える重要な計画である。

本計画に次代を担う若い世代の声を反映させ、本市の魅力をさらに向上し、あるいは課題を解決することを目的として「大分市総合計画等策定若者ワークショップ」（以下、若者ワークショップ）を開催した。

1.2 実施概要

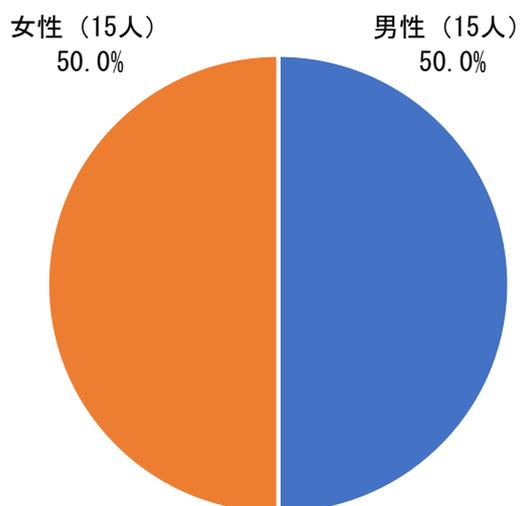
若者ワークショップの実施概要は以下の通りである。

実施回	概要
第1回	活発な意見交換ができるよう参加者同士の交流を図るとともに、大分市が抱える課題や将来起こりうる社会問題について議論した。 また、(仮称)大分市若者活躍推進プランについて市から説明を受け、若者の活躍推進をサポートするために必要だと思う取り組みについて議論した。
第2回	それぞれが考える大分市の魅力と課題を全体発表した。 また、「新たな総合計画等の策定に向けた若者アンケート調査結果」（以下、若者アンケート）の分析結果から、大分市内に在住あるいは通勤・通学する若者の声や傾向を参考にし、「大分市総合計画策定に関する若者提言書」の作成に向けてグループごとに大分市の課題について議論した。
第3回	各自がホームワークで深掘りして調べた大分市の課題と課題解決のための方策についてグループで共有し、「大分市総合計画策定に関する若者提言書」の作成に取りかかった。
第4回	グループごとに「大分市総合計画策定に関する若者提言書」の最終確認と提言内容の全体発表を行った。
提言書手交式	若者ワークショップで取りまとめた提言書を市長へ手交した。

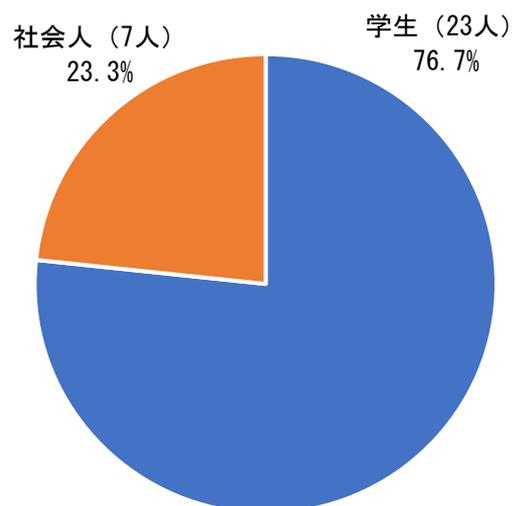
1.3 参加者について

若者ワークショップは大分市内居住または通学・通勤している17～28歳の若者30名で実施した。参加者の属性は以下の通り。

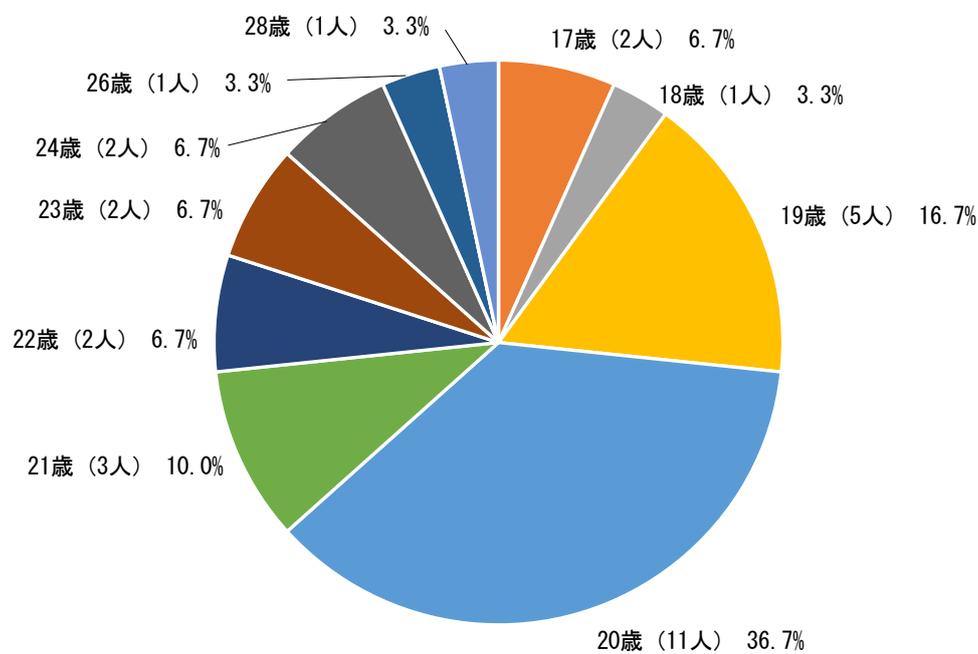
<性別>



<職業>



<年齢>



2 若者ワークショップ各回実施内容

2.1 第1回

日時：令和5年11月5日（日）10:00～12:00

場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室

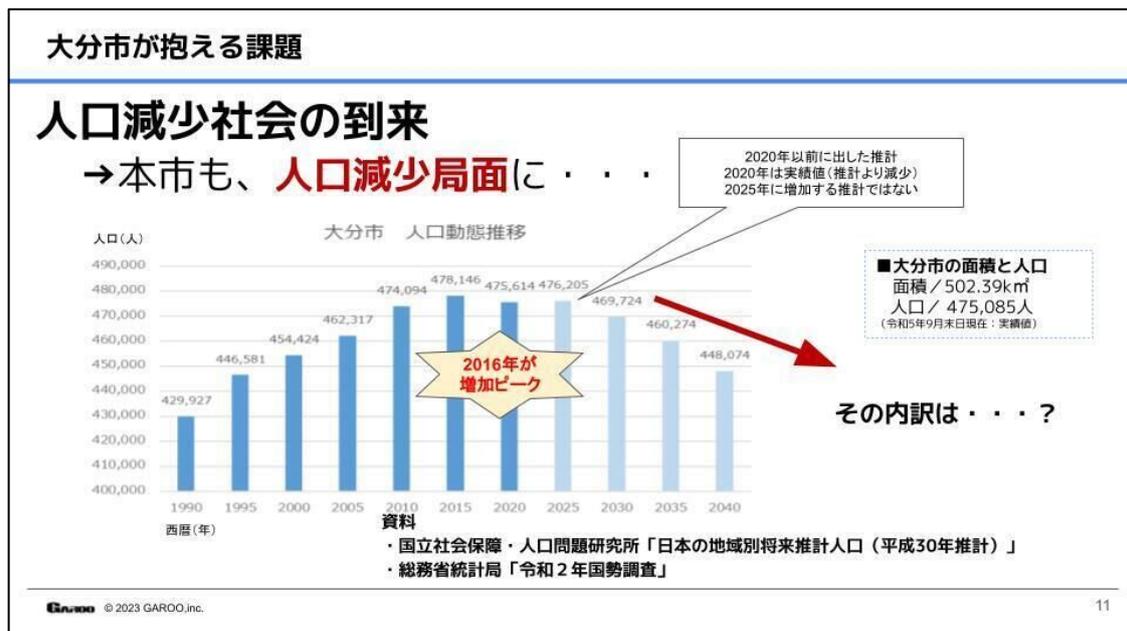
参加者：26名

<タイムテーブル>

時間	内容
10:00 ～ 10:05	開会挨拶
10:05 ～ 10:25	大分市の現状・将来起こりうる社会問題について (仮称)大分市若者活躍推進プランについて
10:25 ～ 11:00	グループワーク (若者の活躍推進をサポートするための取り組み)
11:00 ～ 11:35	全体発表（自己紹介）
11:35 ～ 12:00	次回に向けての説明

I. 大分市の現状・将来起こりうる社会問題について

大分市が置かれている状況や今後起こると想定される社会問題、総合計画について事務局から説明した。



若者世代の人口移動について

地域の将来を見据えたときに若者世代の転入・転出について考える必要がある。
特に、20～24歳の転出割合が非常に高い。

ここでのポイント！

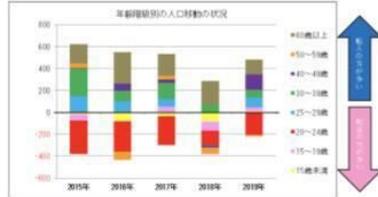
- ・若者が地域に住み続けたいと思うには。
- ・若者が帰って来たいと思うには。
- ・転入者が増えるにはどうしたらいいのか。



ぜひ、若者目線の意見を主張し、大分市の総合計画に反映させてほしい！

(4) 年齢別人口移動の状況

近年の年齢別人口移動をみると、転入者では60歳以上が多くなっています。
一方、転出者では、新渡大卒者が就職する年齢である区分の20～24歳が多くな
っており、2019（令和元）年では、転出者15,024人のうち、20～24歳の転出
者は9,231人と全体の21.5%を占めています。



年齢	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
60歳以上	174	269	302	278	126
50～59歳	40	-79	32	-61	-12
40～49歳	5	66	39	-74	138
30～39歳	256	96	149	69	79
20～29歳	145	151	68	-5	-86
15～19歳	-189	-274	-252	-122	-205
15歳未満	-17	-19	-25	-74	25
計	-19	-19	-25	-68	12

II. (仮称)大分市若者活躍推進プランについて

「(仮称)大分市若者活躍推進プラン」について事務局から概要を説明し、大分市で暮らす市職員から自身の経験等を交え「若者活躍」に関する具体例を提示した。

(仮称)大分市若者活躍推進プランとは

目的

若者の取組を社会全体で応援し、若者もまた地域や社会の取組に協力することで、若者が持つ活力の循環を社会に生み出すとともに、新たな世代にもその活力が循環するまちを実現する

若者応援条例（令和5年4月1日施行）に基づいて計画される

若者を社会全体で応援

- ▶ 若者が地域や社会の取り組みに関心を持って参加
- ▶ 若者が持っている活力と行動力を社会に繋げ、広げる
- ▶ 次世代の若者へ受け継がれる
- ▶ 同様に若者が活躍したいと思えるまちの実現を目指す

若者が持つ活力の循環



■ 「活躍」とは、多くの人に注目を浴びる活動や、称賛される活動に限らず、日常の様々な場面で一人一人が持っている思いや願いを表現してみることも「活躍」と捉えている。

III. グループワーク（若者の活躍推進をサポートするための取り組み）

「大分市の現状・将来起こりうる社会問題」「(仮称)大分市若者活躍推進プランについて」を踏まえて、若者の活躍推進をサポートするために必要だと思う取り組みについてグループごとに議論した。

<グループワークでの主な発言内容（若者の活躍推進をサポートするための取り組み）>

- 大分市の支援制度や補助に関する情報発信（自然と情報が手元に入ってくる体制）。
 - そもそも色々な制度や補助があることを知らない。
 - チャレンジをするにあたってハードルがいくつもある中で、「始める」ということのハードルが一番高い。情報が自然に入るようにすることで始めるためのハードルは下がる。

- 人脈を広げるための交流会などの開催。
 - 人脈が広がる中でしか手に入らない情報がある。
 - 行政主催の交流会だと安心感がある。

- 起業について学べる場や身近に相談できる体制の構築。
 - 将来的に起業も視野に入れている。
 - 就活の相談は経験者である大学の先輩などが近くにいるから話しやすい。
 - 定住するには「働く場所」が必要だが、現状は働きたい企業（選択肢）が少ない。

- 補助金の充実。
 - 例えば農業でも新規就農や農機具について知らない人も多く、どのような制度や補助金があり何のための制度なのかイメージできない。補助金の制度だけでなくワンストップで相談できる窓口などがあると良い。

- 様々な種類の企業が大分市に進出してほしい。
 - 働く場が増えてリモートワークができれば将来的に戻ってくることができる。
 - 将来的に映像関係の仕事がしたい。

- 人脈を広げるための場、気軽に集まれる場の提供。
 - 色々な話を聞くことができ、共通の趣味を見つけられる場がほしい。
 - 若者と一緒に行うイベントや企画を行っているがなかなか浸透していない。

- 学校や年齢の垣根を超えた交流をすることができるイベントの開催。

- SNS を活用して同じ意見の人と触れ合う機会の創出。
 - 仲間が増えることで「これがしたい」と思った時に頼ることができる人と繋がる。

<グループワークの様子>



IV. 全体発表・自己紹介

本ワークショップ参加前に考えていた大分市の魅力と課題について、参加者全員が自己紹介を交えながら全体発表を行った。

<当日使用した自己紹介用シート>

プロフィール

今日の気持ちは！
ワクワク・ドキドキ・ソワソワ

はじめまして、私の名前は _____ です。よろしくお願いします！
_____ って呼んでくれたら嬉しいな～！
_____ 歳で、_____ 出身だよ！
今は _____ で、_____ として頑張っています。
大分市は _____ なまちだと思います！
特に _____ は大分市の素敵な魅力です！

大分市愛チェック

あなたは大分市が好きですか？

✔ Yes

✘ No

その理由を教えてください！

THIS IS 大分市！

1 大分市のココが好き！	2 大分市のココが困る...	3 大分市での思い出
<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____
<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____
<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____	<input type="checkbox"/> _____

拝啓、10年後の私よ。

_____ 歳の私から、_____ 歳の私へ。

これが私の理想の姿です。頑張れ、ジブン！
それと、大分市も10年後には

なまちになってたらいいな。頑張ろう、私の大分市！

<プロフィール帳への主な記入内容>

<p><u>【大分市の印象】</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 都市部と農村部の共存• 自然が豊か• 歴史や文化が豊か• イベントが盛りだくさん• 活気がある	<p><u>【大分市の課題に感じていること】</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 交通の便が悪い• 県外の若者が来ない（県外に出た若者が帰ってこない）• 外出場所（遊び場）が少ない• 観光スポットがない
<p><u>【大分市の好きなところ】</u></p> <ul style="list-style-type: none">• 豊かな自然• 食べ物が美味しい• イベントが多い• 商業施設が充実している• インフラが整っている• 教育環境が充実している	<p><u>【大分市での思い出】</u></p> <ul style="list-style-type: none">• うみたまごに行ったこと• スポーツ観戦• 高崎山に行ったこと• 夏祭りや花火大会• 学生時代を過ごしたこと• 友達と遊んだこと

<全体発表の様子>



2.2 第2回

日時：令和5年12月3日（日）10:00～12:00

場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室

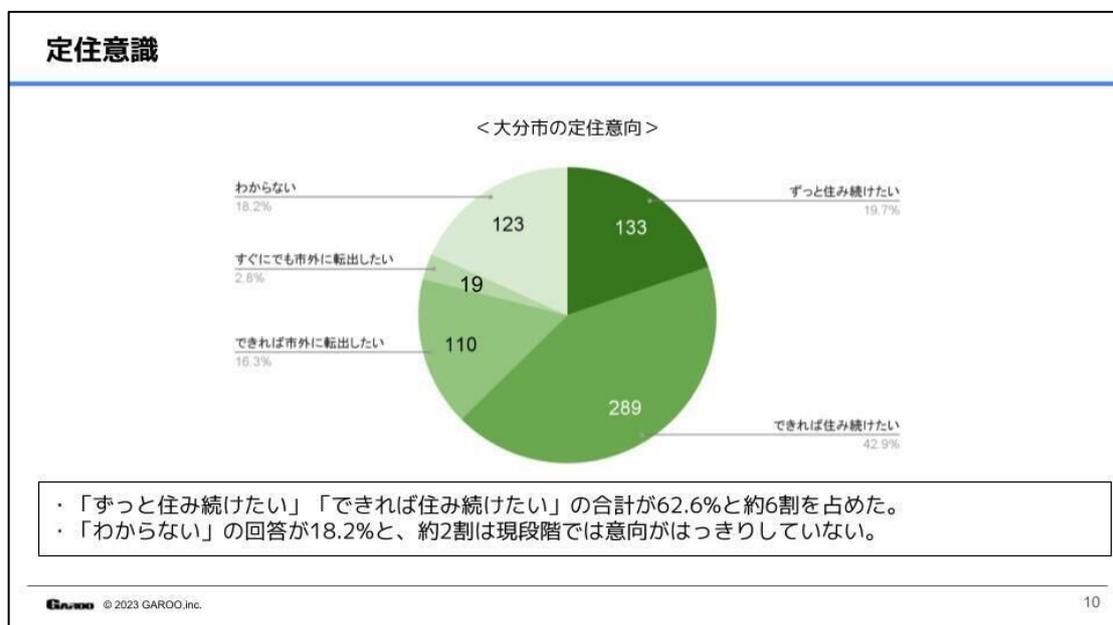
参加者：26名

<タイムテーブル>

時間	内容
10:00 ～ 10:10	開会・第1回の振り返り
10:10 ～ 10:25	若者アンケートの分析結果報告
10:25 ～ 11:10	ホームワークの発表（大分市の魅力）
11:10 ～ 11:50	グループワーク（大分市の課題）
11:50 ～ 12:00	次回に向けての説明

I. 若者アンケートの分析結果報告

次代を担う若者の将来に対する意識などを把握し、その結果を新たな総合計画および（仮称）大分市若者活躍推進プランに反映させることを目的として実施した若者アンケートの分析結果を事務局から参加者に報告した。



II. ホームワークの発表

それぞれが考える大分市の魅力について全体発表を行った。

分野	大分市の魅力
まちの活気	<ul style="list-style-type: none"> 大分県の中心的なエリアで温泉や様々な観光スポットがある 住民と一体となって活性化を図っている 駅前や商店街で頻りにイベントが開催されている 多くの市民が集まる中心部でのイベントが、中心部および大分市全域の活性化につながっている イベントも多く開催されるので、年間を通して常に活気がある
自然	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな場所が多いところ 自然が身近にあることで様々な感性を育むことができる 中心部から数十分で緑が見られるほど自然と共生している 自然と都市の調和が図られているため、文化を大切にしながら美味しい食べ物などの自然の恩恵を受けることができる 1年を通して過ごしやすい気候に恵まれている
文化・芸術	<ul style="list-style-type: none"> 1,000年以上前から中心的都市の役割を担っており、歴史的文化が豊富 音楽や美術がすごく身近で、すぐに体験できる 空き店舗などをアート化することで賑わいを呼び込む動きがある 「なんとなく近寄りたさを感じてしまう芸術」への気軽な入口づくりに非常に積極的なことが大分市民の生活をより豊かにし、地域活性化に貢献している 若手クリエイターが自身の力を発揮して市内産業の活性化に貢献できる体制が整備されている
教育	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境が整っている 高校や大学が多く学ぶ場が多い 企業と大学の連携が強い 様々な挑戦を助けてくれる
社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> 医療費の助成が充実している 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3~5歳すべての子どもの利用料が無償 仕事と子育ての両方に安心して取り組むことができる
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 運動をする人が多くて活気にあふれている 運動する場所や機会がある サッカーの大分トリニータ、野球の大分B-RINGS、バレーボールの大分三好ヴァイセアドラーなど様々なスポーツのプロチームがあ

	るため、スポーツを通じて夢を持つきっかけが多い
産業・商業	<ul style="list-style-type: none"> • ショッピングモールが複数点在している • パークプレイスやわさだタウンなど手ごろに買い物できる場所があり、駐車場なども無料で使用できる
防災	<ul style="list-style-type: none"> • ハザードマップの提示、非常特出品準備の呼びかけなど、市役所を中心に各地域の防災対策を行っている • 地域防災の取組が災害に強いまちづくりだけでなく、大分市民の助け合い強化につながっている

<全体発表の様子>



III. グループワーク（大分市の課題）

大分市が抱える課題について、参加者が興味のある分野をもとにグループを再編してグループごとに議論をした。

<グループワークの様子>



<当日使用したワークシート>

ワークシート②

2023年12月3日

() 班 氏名：

グループの分野

--

この分野における課題は？箇条書きで書いてみよう！

<ul style="list-style-type: none">・・・・・・・・・

それぞれの課題について調べてみよう！（ホームワーク）

--

ワークシート②

2023年12月3日

() 班 氏名：

課題を解決するための施策は？箇条書きで書いてみよう！

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

それぞれの施策の内容について想像してみよう！（ホームワーク）

行政ができることは？市民である皆さんができることは？

目指すまちづくりのためのタイトルを考えよう！（ホームワーク）

2.3 第3回

日時：令和6年1月14日（日）10:00～12:00

場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室

参加者：26名

<タイムテーブル>

時間	内容
10:00 ～ 10:10	開会・第2回の振り返り
10:10 ～ 11:50	グループワーク（大分市の課題と解決策）
11:50 ～ 12:00	次回に向けての説明

I. グループワーク（大分市の課題と解決策）

第2回で議論した大分市の課題について、ホームワークとして各自でさらに深掘りして調べた内容をグループで共有した。また、それぞれのテーマに沿って、課題に対する解決策をグループワークで議論した。

<グループワークで挙げられた大分市の課題>

【グループ1】

テーマ	課題
生活・活動	<ul style="list-style-type: none">共助意識の欠如地域交流が少ない高齢者による事故が多い
教育	<ul style="list-style-type: none">子どもの学力に差がある教育機会が平等でない進学先がない
産業・商業	<ul style="list-style-type: none">就職先がないレジャー施設・娯楽施設の不足若者中心の事業が少ない
社会福祉	<ul style="list-style-type: none">待機児童の増加子育て支援が足りていない
その他	<ul style="list-style-type: none">公共交通機関が不便津波や地震に対する防災意識が低い

【グループ2】

テーマ	課題
産業・商業	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の未活用 過疎化による街の衰退 新しいお店が長続きしない 宿泊施設が少ない
生活・活動	<ul style="list-style-type: none"> 市内のスポーツ施設の場所や各施設で何ができるかわからない 施設があるのに若者が利用しない 施設を借りる手続きが難しい
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 市の中心部からスポーツ施設まで距離がある 大分市出身のスポーツ選手を知らない 身体活動量が男女ともに低い
社会福祉	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉サービスが十分でない 高齢者に対する支援が不足
社会・文化	<ul style="list-style-type: none"> 市立美術館の利用者が減少している アートを気軽に楽しめない
その他	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の機会がなく、姉妹都市すら知らない 高齢者がデジタル化についていけない

【グループ3】

テーマ	課題
インフラ	<ul style="list-style-type: none"> 路線バスの遅延 移動手段が少ない ガソリンが高い 下水管、橋などの老朽化 主要道路の渋滞が多い
産業・商業	<ul style="list-style-type: none"> 駅チカに商業施設が少ない 買い物できる場所が遠い 新規商業を展開しづらい 農業・林業・水産業の担い手不足 アーケード街に人が少ない
その他	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が多い 中心部都市化による森林伐採

2.4 第4回

日時：令和6年2月4日（日）10:00～12:00

場所：大分市役所本庁舎8階 大会議室

参加者：28名

<タイムテーブル>

時間	内容
10:00 ～ 10:10	開会・本日の流れ説明
10:10 ～ 11:10	グループワーク（発表準備）
11:10 ～ 11:45	全体発表
11:45 ～ 12:00	閉会

I. グループワーク・全体発表

大分市の課題と解決策をグループごとに1つのテーマで統合し、「大分市総合計画策定に関する若者提言書」の内容としてまとめ、グループごとの提言内容を全体発表した。

<グループワーク・全体発表の様子>



3 「大分市総合計画策定に関する若者提言書」概要

全4回のワークショップを経てまとめられた提言概要は以下の通りである。提言は3つのグループに分かれて、目指す大分市のまちの姿を実現させるために具体的な施策をまとめた。各分野について若者ならではの視点から施策の提案を行った。

提言1 教育、子育て、スポーツ、文化芸術、国際交流について

目指す大分市のまちの姿	具体的な施策
教育における学習機会の平等性の確保	小学校や中学校の教室を無償で貸し出した学習サポート
	学習道具（デジタル教材）の提供
子育てをしたいと思えるまち	先進的な取り組みによる大分市の子育て支援の情報発信
	既存の子育て支援に関する情報発信の方法の改善
	これからの子育てをする世代への子育てに関わる機会の創出
大分市の豊かなスポーツ資源の活用	スポーツ施設の利便性向上と市民の意識改革
	施設の情報充実化
	プロスポーツ選手との交流
文化・芸術の発展と浸透	芸術活動の場の充実
	公共施設の利用手続き方法の拡充
	より気軽な芸術の展開
	インフルエンサーの積極的な活用
国際交流によるグローバル化の推進	国際イベントの推進
	留学生のアルバイトの受け入れ

提言 2 健康、福祉、生活安全について

目指す大分市のまちの姿	具体的な施策
多世代にわたる地域住民の交流推進	多世代が集まり交流できる場の設置
	認知症高齢者を地域で見守るネットワークの設置
	大分市の特色を活かした健康イベントの実施
高齢者だけではなく、どの世代も住みやすい街への推進	免許返納支援制度の充実
	ライドシェアの普及
	オンラインサービスの拡大
	犯罪の抑制

提言 3 交通、農業、商業・サービス業、観光について

目指す大分市のまちの姿	具体的な施策
誰もが使いやすく移動しやすい交通網の整備	新交通システムの導入
	自動運転バスの導入
	シェアサイクルの導入
	オンデマンド交通の導入
若い世代の農業教育の拡大	早期段階での学習機会の導入
	教育機関との連携推進
新規ビジネスへの支援の拡大	移動販売車を活用した創業支援
	リノベーション済み空き家の提供
観光客にも市民にも魅力的な観光事業の推進	大分市をアートのまちとして推す
	西大分エリア開発推進
	観光業を教育教材へ
	観光業を通しての高齢者へのデジタル推進

4 「大分市総合計画策定に関する若者提言書」手交式

日時：令和6年2月28日（水）10:30～11:00

場所：大分市役所本庁舎3階 市長室

参加者：若者ワークショップ代表5名

全4回のワークショップを経てまとめられた若者提言書を市長へ手渡した。その後、提言の概要や若者の課題意識と考え方、若者の政治への関心等について意見交換を行った。

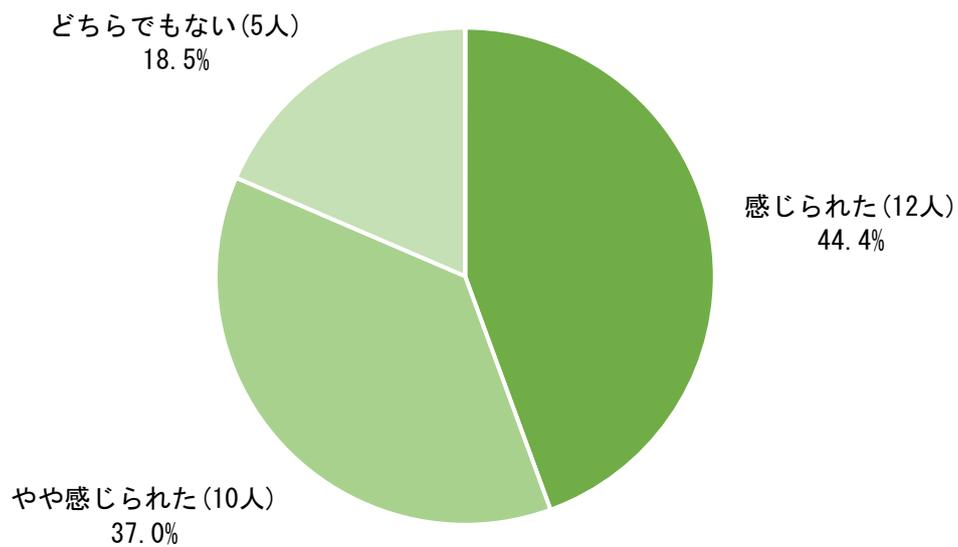


5 ワークショップ参加者アンケート結果

ワークショップ参加者を対象としたアンケートの結果を以下に記載する。

問1. ワークショップを通してあなたの声を市政に反映させることができると感じられましたか？ (n=27)

項目	回答数
感じられた	12
やや感じられた	10
どちらでもない	5
あまり感じられなかった	0
感じられなかった	0



○回答にあたって挙げられた理由（自由記述・一部抜粋）

<感じられた>

- 閉会での発言者の言葉がとてもよかった。参加して良かったです。
- 積極的に活動に参加でき、意見を言えたから。
- 提言書作成の中で自分の意見も交えて作成することができた。
- 市長に提言できるから。
- 親身に聞いてくれて期待してしてくれたから。
- 自分が考えた内容がほとんど提言書に入ったから。
- 事務局のサポートもあり、意見を出せた。
- 直接職員の方にも発表の内容を聞いていただけたため。
- 実際の声を提言会に直接持っていくことができるから。
- 提言の内容が具体的になるにつれて実現可能性が見えたから。
- 個人的なことだと思っていたけれど、言葉にしてみると、もっと大分市が良くなる意見になって、驚きました。伝えられて嬉しいです。是非この声が反映されてほしい！

<やや感じられた>

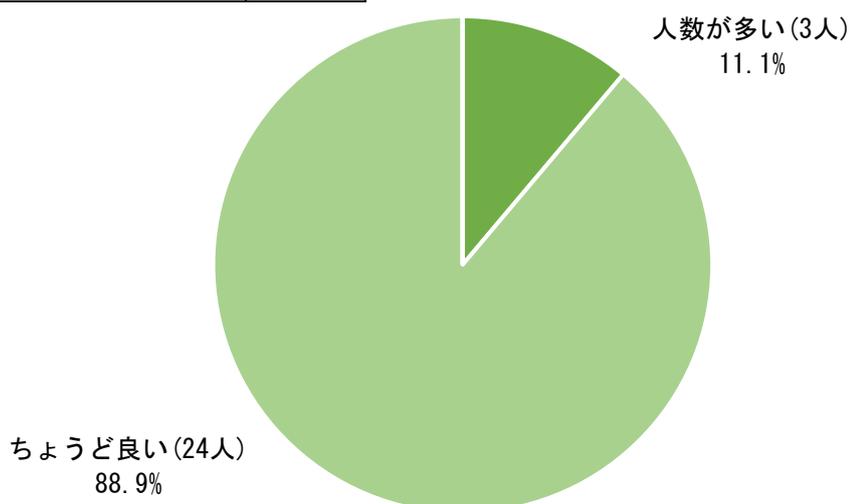
- 実際に市役所の活動として参加できたから。
- 若者らしい意見が多くてしっかりと反映されていた。
- 考えを提言書に入れ込むことができたため。
- 若者が集まり、本当に真剣に考えることができたため。
- 具体的な考えを述べられたから。
- 市役所の方々もいて、きちんと伝えられたと思う。
- 市役所の人とも情報交換がしてみたかった。
- 実現が難しい部類だと思いますが、反映されたら嬉しいです。
- 若い世代がそれぞれの想いを市に伝える機会をいただき、提言書を作成までたどり着けたため。同世代のメンバーと意見交換をしながら市の課題と魅力を考える過程で、自分より若いメンバーにたくさん刺激をもらうこともでき、良かったです。

<どちらでもない>

- まだわからないため。
- まだ姿勢に反映されていないから。
- 結果を見ていないので、まだなんとも言えないから。

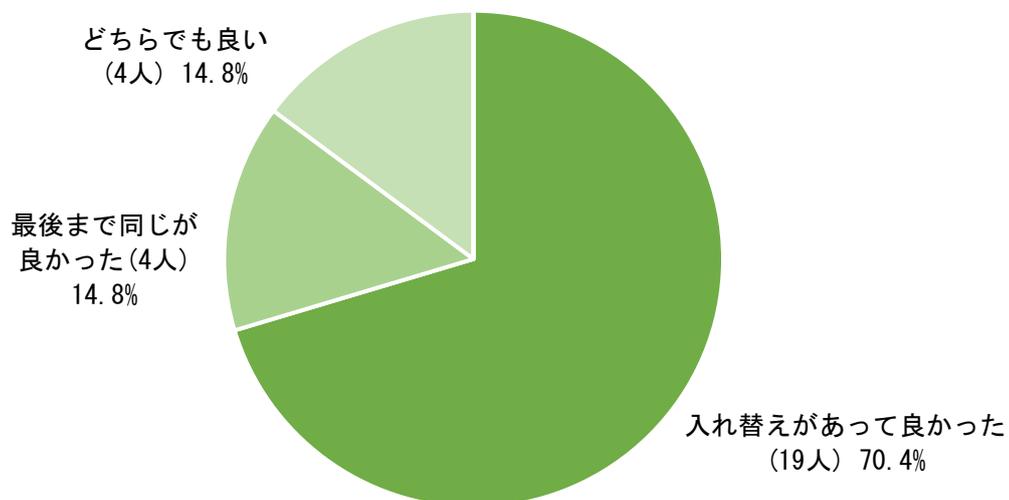
問2. ワークショップの開催規模（全30名、5~6グループでの開催）はいかがでしたか？（n=27）

項目	回答数
人数が多い	3
ちょうど良い	24
人数が少ない	0



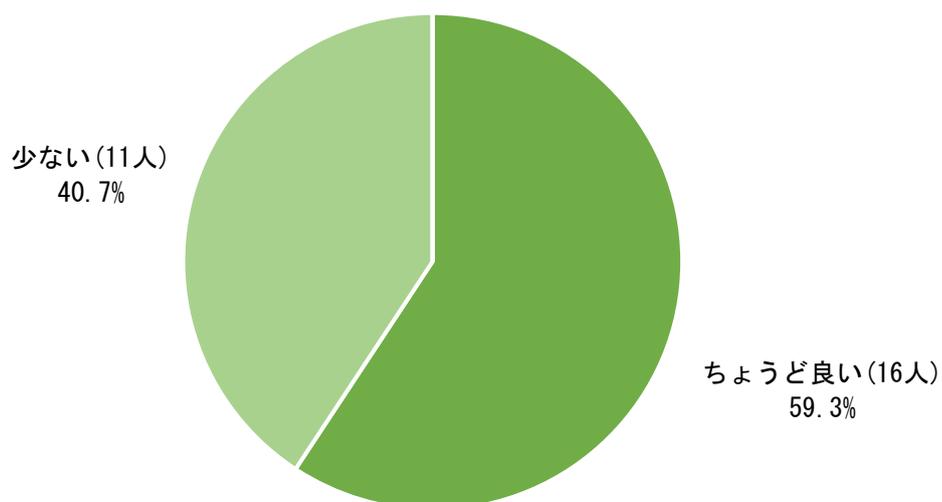
問3. 本ワークショップでは数回グループを組み直しました。グループを入れ替えてのワークショップはどうでしたか？（n=27）

項目	回答数
入れ替えがあってよかった	19
最後まで同じが良かった	4
どちらでも良い	4



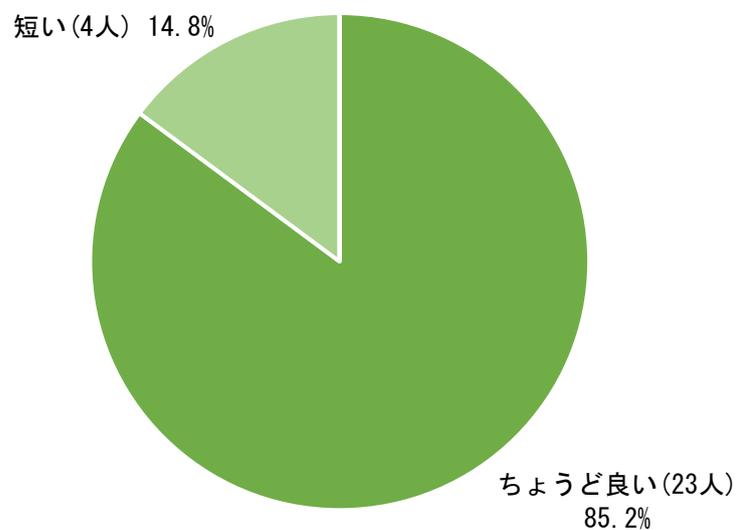
問4. ワークショップの開催回数（全4回）は「若者提言書」を作成するための回数として適切でしたか？（n=27）

項目	回答数
多い	0
ちょうど良い	16
少ない	11



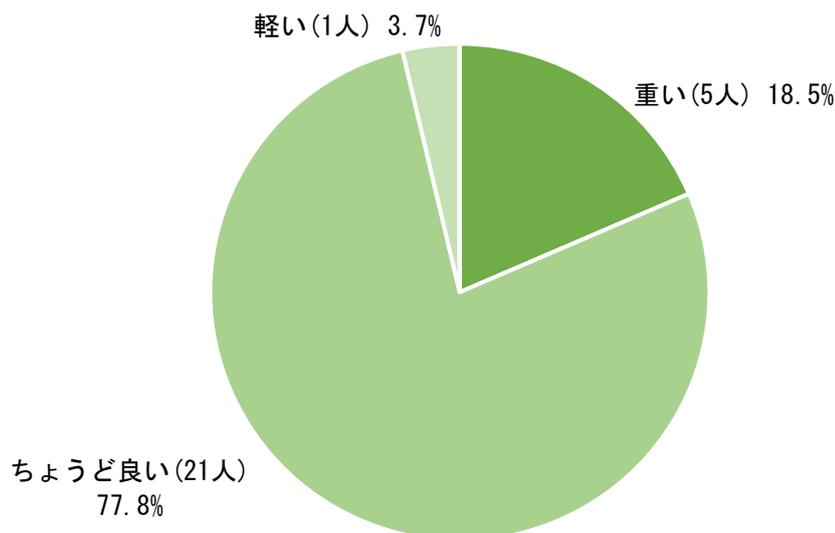
問5. ワークショップ1回あたりの開催時間（2時間/回）は適切でしたか？（n=27）

項目	回答数
長い	0
ちょうど良い	23
短い	4



問 6. ホームワークの量は適切でしたか？ (n=27)

項目	回答数
重い	5
ちょうど良い	21
軽い	1



問 7. その他、本ワークショップに参加した感想や運営に関する意見などがあれば自由にご記入ください。(自由記述・一部抜粋)

- とても良い経験になりました。
- 結構頭を使う事が多かったですが、大分市のポテンシャルを見直す事ができ参加してよかったと思います。
- 市について考える機会をいただき、様々なサポートをしていただくことで自分の考えを深め、住んでいる町への見方を変えることができました。大変ありがとうございました。
- ワークショップで提供していただいた調査結果やホームワークを通して、生まれ育った大分市の魅力を再発見することができました。また、普段交流の機会がない他分野の学生や社会人の方とお話できて、私にはなかった視点や、新たな活動の可能性(保健分野と芸術・観光・運動の融合等)に気づくことができ、とても充実した時間になりました。